



素晴らしい本が出版されました。『イラストレイテッド 光の科学』（朝倉書店）です。選ばれたトピックを、数式を使わずに丁寧に記述し、理解を助ける豊富な図版と、家庭でもまねできる実験手法、それに著者らが撮り溜めた貴重な写真の数々で埋め尽くされた本です。ごまかしのない記述は、本当に理解している人しかできない芸当で、読む方も紙と鉛筆を用意して真剣かつ丁寧に理解してゆく必要がありますが、それを乗り越えて理解ができれば光の世界への大きな扉を開けたことになるでしょう。とにかく、類書のない貴重な本で、本ページの読者の全てに推奨いたします。

この本にちりばめられている写真を見ると、本当に光というものをよく見ていると感心します。32ページ見出しの写真はお見事、55ページ上段の写真は思わず真似したくなることでしょう。光の参考書というだけでなく、写真はこう撮影するという参考書としても好適で、筆者などは、忙しくて尻に火がついているにもかかわらず、ついついパラパラとめくって時間が過ぎゆきます。光でマイクロの世界をご案内している身としては、目が離せません。ご家庭でも再現可能な実験手法も解説してあって、いくつかのトピックについては単なる読本を超えて、簡単な実験テキストにもなります。

本書の著者である田所・石川 両先生は筆者の大切な知人でもあります。これまでも色々なことを教わってきました。お話しすると巨岩の一部にでも触れているかのようで、この人たちの知識の全体像はどうなっているのかと思わずにはいられませんでした。こうやって一冊の本を読んでも、この境地に達するにはどれほどの勉強をしたことかと感嘆するばかりです。ものごとを理解するためにはしっかりと真面目な態度の勉強が不可欠なことは言うまでもありませんが、その姿勢の大切さは、「あとがき」にも触れられていて、この「あとがき」は日本国民の全員に読んで欲しいとさえ思います。

これ以上の多言は不要でしょう。この本を見て、「面白そう～」と思ったそこのあなた、amazonへ、書店へ、急げ急げ（画像/MWS）。

\*1 あまりに素晴らしい本なので、当サービス自慢の巨大方解石を取り出して、「光の科学」っぽいことをしてみました。